

推戴式 沖縄県高等学校総合体育大会

5月31日(金)の総合開会式を皮切りに、いよいよ沖縄県高等学校総合体育大会が開催されます。(一部先行開催の競技もあります)

5月24日(金)の1校時、生徒会主催で沖縄県高等学校総合体育大会に出場する競技、部活動生徒を応援・激励する推戴式がありました。

今年は、17部活動169名の生徒が本総体に出場または役員等に関わることになりました。体育館のフロア横幅一杯に整列した本校選手たち120名の勇姿は、この数年間で飛躍を遂げ、本校が地道に努力してきた教育活動のまさに花開いた瞬間であると感じるとともに生徒たちを誇らしく思いました。

校長挨拶ではまず、人数が足りずに部活動発足に至らず、しかしたった二人でキャッチボールを黙々と続けている1年2組の金城野々花さんと1年4組の上原瑞海さんを紹介して、ここに整列したくても出来ない友人たちがいること、そういった学友の分まで感謝して、悔いの残らないよう今までの努力を発揮してほしいと話し、私の夢は校門前から約100m コンビニまでのフェンスいっぱいには生徒の皆さんの活躍横断幕を掲げることだ。と抱負を述べました。

ひとしきりセレモニーが済んだ後は、総勢120名野球部による応援、野太い男子高校生の声が地響き、それも怒涛のよううねりで空気を揺るがしフロアを震撼させました。一糸乱れぬ声と動作の完成はこの約一週間毎朝夕の練習の賜物であるのを知っています。皆で何か1つの目標を成し遂げようとする心、個人やチームのために頑張る者を心から尊敬して讃え、励ます精神に目頭が熱くなったのは私だけではないと思います。

スポーツ観戦の醍醐味は競技場でのそれにつきますが、しかし応援している人どうしの、一つの目標のために同じ時間を共有しているという一体の感覚もまた快感です。

生徒、選手の皆さんは1年間この日のために努力してきました。努力は必ず報われるわけではありません。ただ、努力をしなければ報われることもありません。努力の過程は人をつくり、結果は思い出を作ります。これから全力で戦い抜くであろう生徒、選手達そして部顧問の先生方に感謝の意と拍手を送ります。

ちなみに、校長しか撮れないアングルの写真を掲載して沖水代表生徒らの推戴に代えます。

